

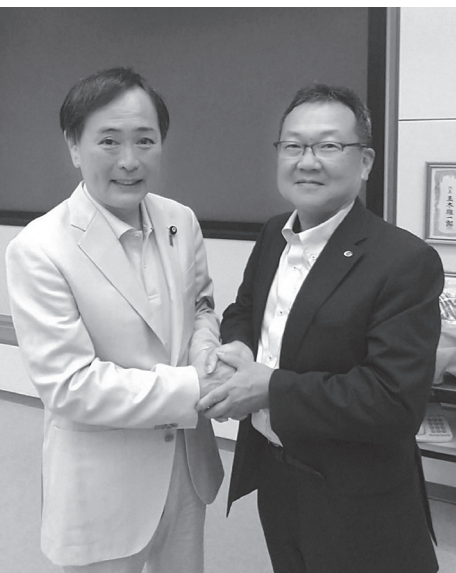
JR連合結成30年を
次代への起点に据え
JR産業の持続的成長と
組合員・家族の幸せを実現しよう!
http://www.jr-rengo.jp



日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者/荻山市朗 ●編集者/相良夏樹

facebook
JR連合

twitter
JR連合



第26回参議院議員選挙
JR連合推薦の重点候補者
比例の3候補を含む8人が見事に当選

JR連合結成30周年記念行事のお知らせ
日時 2022年10月6日(木) 13:30～
会場 ホテルメトロポリタン池袋
内容 1. シンポジウム
テーマ「新たな時代における鉄道の発展とJR産業の持続的成長に向けて」
・基調講演
・「JR連合30周年記念提言」提起
・パネルディスカッション
2. 記念式典
・来賓あいさつ
・記念セレモニー 等

左) 荻山会長とガッチリ握手し、当選の喜びをかみしめる川合孝典氏
中央) 当選報告のためJR連合を訪問した石川JP労組委員長としば慎一氏(左から2人目)
右) 当選を果たし、政所事務局長とガッツポーズで笑顔を見せる竹詰ひとし氏

「JR二島・貨物経営自立実現PT」最終提言
「新しい「ビト・モノ」ネットワークをつくる」
JR連合政策提言で経営自立実現を

7月10日に投票が行われた第26回参議院議員選挙において、推薦候補の必勝に向けてご支援、ご尽力をいただいた組合員や家族の皆さまをはじめ、すべての関係者に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

7月10日に投票が行われた第26回参議院議員選挙において、推薦候補の必勝に向けてご支援、ご尽力をいただいた組合員や家族の皆さまをはじめ、すべての関係者に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

を含む重点候補者8人の当選を果たすことができました。しかし、電機連合出身の矢田わか子氏と大分県選挙区の足立信也氏は残念ながら当選を果たすことができませんでした。

《重点候補選挙結果》			
《比例区》			
川合孝典 (U Aゼンセン)	当選		
矢田わか子 (電機連合)	惜敗		
しば慎一 (JP労組)	当選		
竹詰ひとし (電力総連)	当選		
《選挙区》			
蓮舫 (東京都)	当選		
小西洋之 (千葉県)	当選		
伊藤孝恵 (愛知県)	当選		
福山哲郎 (京都府)	当選		
古賀之士 (福岡県)	当選		
足立信也 (大分県)	惜敗		

「JR二島・貨物経営自立実現PT」の取り組み
1. 経営自立に向けて必要不可欠な措置(ポイント)・方向性
2. 従前の支援スキームの維持・拡充の必要性
(1) 経営安定基金
(2) アボイダブル・コストルール、「貨物調整金」制度
3. 2021年度以降の支援措置を踏まえ、今後求められる政策
＜中長期課題と、将来を見据えた取り組みに対する支援＞
① 地域と連携した持続可能な交通体系の構築(「チーム地域共創」の実現)
② 在来線ネットワークの利便性向上に資する支援
③ 北海道新幹線の高速化に対する支援
④ 並行在来線の存続と貨物調整金の財源確保
⑤ 四国新幹線の実現に向けた予算措置の早期実現
⑥ 貨物鉄道の安全安定輸送に資する対策強化
4. 新型コロナウイルス感染症による影響に鑑みた支援
さいごに

JR連合「第643号」で既報の通り、先の第32回定期大会において「JR二島・貨物経営自立実現PT」の最終提言として「新しい「ビト・モノ」ネットワークをつくるJR連合政策提言」を策定した。同PTは、JR北海道・JR貨物・JR四国(JR二島・貨物)に対する国からの各種支援策が2021年3月末で区切りを迎えるタイミングで、この重大な課題に対処すべく2019年秋に発足した。本プロジェクトでは、JR二島・貨物が将来にわたって担うべき社会的使命を果たし続けられるよう、①2021年度以降の支援策の延長・拡充(当面の対策)、②経営自立の姿を描きそこに繋げる道筋の確立(将来像とプロセス)の実現をめざし、共同座長(泉健太衆議院議員、小川淳也衆議院議員、広田一衆議院議員(当時)、伴野豊衆議院議員)、および太田和博教授(専修大学、板谷和也教授(流通経済大学)のお力添えを頂きながら、関係JR各社との連携を深め、2022年5月までに11回の会合を開催し議論を積み重ねてきた。こうした議論のうえ、2020年5月には中間とりまとめと

に厳しいものであったが、他方でSNSの積極活用など、これまでと異なる選挙戦への取り組みを通じて組織と運動の強化がなされたことは成果と言える。引き続きJR連合運動の

第26回参議院議員選挙結果を踏まえてのJR連合コメント
2022年7月11日
7月10日に投票が行われた第26回参議院議員選挙において、推薦候補の必勝に向けてご支援、ご尽力をいただいた組合員や家族の皆さまをはじめ、すべての関係者に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

今参議院議員選挙は、長期化するコロナ禍が依然として猛威をふるい、ロシアによるウクライナ侵攻によって世界が更なる混乱に陥る中で行われた。国民生活や経済・社会活動の混乱と悪影響を早期に収束させる強い政治のリーダーシップと、機動的な政策立案と実行、さらには将来を見据えた先見性のある政策の展開が強く求められ、また、働く者・生活者が真に求める政策を実現する政治家を国政の場に送る必要性がますます高まっているという情勢下での選挙であった。同時に、その結果が今後の国会運営や政局のほか、苦境に陥っているJR産業の将来に大きな影響を及ぼし得る、重要な国政選挙であった。

結果として、今選挙は過去4番目に低い52.05%という低水準の投票率のもとでの審判となった。与党では自民党の獲得議席数が単独で改選過半数に達し、自民・公明の両党で76議席(改選前69議席)となった。立憲民主党は議席を減らし17議席(改選前23議席)となり、国民民主党は5議席の獲得(改選前7議席)にとどまった。一方で日本維新の会は、今選挙においても議席を増やし12議席を獲得した(改選前6議席)。改選に前向きな4党では、憲法改正発議に必要な82議席を上回る93議席となった。

JR連合は連合方針を踏まえ、政局や諸情勢に左右されることなく、非自民・反共産の理念および政策本位、人物本位の政治方針を堅持し、選挙区では「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属し改選期を迎える6名と、全国比例区では連合組織内候補4名を重点候補者として推薦した。加盟組織とともに全員当選に向けた取り組みを広く展開し、組織と運動の強化にも繋げてきた。重点候補者について、選挙区では伊藤孝恵氏(愛知県)、福山哲郎氏(京都府)、古賀之士氏(福岡県)、蓮舫氏(東京都)、小西洋之氏(千葉県)の5名が当選を果たしたが、足立信也氏(大分県)が惜敗。全国比例区では竹詰仁氏(電力総連)、川合孝典氏(U Aゼンセン)、柴慎一氏(JP労組)の3名が当選を果たしたが、矢田わか子氏(電機連合)が惜敗する結果となった。また、同日で行われた滋賀県知事選では、JR連合出身の三日月大造知事が三期目の当選を果たした。今後は当選者が、その実力を縦横無尽に発揮されることを期待したい。

一方、「政権交代可能な二大政党的体制」の実現は依然として見通しが立たず、重たい課題として私たちに突きつけられている。野党乱立の経緯や国民の政治不信等の現実を受け止め、働く者・生活者の声を代弁する勢力の結果をはかるべく、一丸となって出直しを図る必要がある。

JR産業は、社会構造の変化とコロナ禍により、産業としての大転換期を迎えている。JR産業の回復と発展に向けては、労使の自助努力に加え、企業内労使では解決できない様々な課題への対応が必要不可欠である。JR連合は、今選挙結果を厳粛に受け止め、引き続き政策課題や組織課題の前進に向け、JR連合国会議員懇談会および「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」等との連携を一層強化し、来年度予定されている統一地方選挙をはじめ、各種選挙における取り組みを深化させていく。あわせて、労働組合の役割を今一度自覚し、JR連合構成組織の更なる強化に向け全力をあげることにする。

以上

JR九州労組とともに肥薩線を視察
現在も手付かずの現状に
被害の甚大さを再認識

JR連合は7月2日、JR九州労組とともに、「令和2年7月豪雨」で被災し、八代駅吉松駅間が不通となつてから7月2年を迎える肥薩線の現地視察を行った。



肥薩線 瀬戸石駅が存在していた場所付近の現状

会長と相良夏樹組織局長、JR九州労組からは北村公次中央執行副委員長と濱田

これまで「延長線上ではない新たな形・仕組みの創出を提言」
一方、JR二島・貨物の経営自立は道半ばであり、関係JR各社との連携を深め、2022年5月までに11回の会合を開催し議論を積み重ねてきた。こうした議論のうえ、2020年5月には中間とりまとめと

生命線とも言える政治・政策活動の強化に努めていく。

長線上ではない新しい形・新しい仕組みが必要である。また、今回の最終提言は3社の経営自立と持続可能な経営に必要な処方箋を中長期的な観点から示したが、これらはJR二島・貨物に限らず、すべてのJRに関係する課題でもある。JR連合は、残された課題の解決と提言内容の具現化に向け、あらゆる関係者の理解の輪を広げながら、連携・協働に向けて取り組んでいく。



みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合



災害は避けられない。 安心はふやせる。

家族の幸せを災害から守る

**火災共済/地震風水害共済/
交通災害共済/入院共済**

契約引渡団体：明治安田生命保険相互会社

